9月1日は防災の日

▲備蓄品の例

日頃から地域の防災力を高めよう

「防災の日」は、大正12年に発生した「関東大震災」を教訓に、災害についての認識を深め、防災に対する心構えを持つように定められました。近年、日本各地で大災害が発生しています。今年の7月には、朝倉市や東峰村などで豪雨災害が、昨年4月には熊本地震が発生し、多くの尊い命が奪われました。その一方で人と人との助け合いによって、多くの人の命が救われました。

これらの大震災を通して学んだことは、自分の身は自分で守ることの大切さ、そして、隣近所の助け合いやボランティア活動などの大切さです。いざというとき、どう行動すればいいか考えてみましょう。

日頃から心掛けること

一人一人が災害に対する意識と知識を持ち、自分の身の安全を確保できる行動がとれることが大切です。

◆梅雨時期や台風シーズンなど、風水害が起こりやすい時期には、テレビやラジオ、インターネットなどを見て天気予報や気象情報に注意しましょう。

◆自分の地域の避難場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどの道を通ればいいのかを確認しておきましょう。

◆食料や水、日用品などの持ち出し品、備蓄品を準備しておきましょう。備蓄品は最低3日分を準備しましょう。食料は調理不要で水を使わないものがお勧めです。また、飲料水は1人あたり1日3リットルが目安です。

◆家具などが落下、転倒しないよう固定するなどの対策をしておきましょう。

◆家族で災害時の集合場所や連絡方法を話し合っておきましょう。

◆自分の家族だけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に高齢の人や、障がいのある人には普段からの気配りが必要です。

災害時に心掛けること

◆早めの避難を心掛けましょう。特に高齢の人や障がいのある人で避難に時間のかかる人は、早めの避難が大切です。
避難所開設前に自主的に避難をするときは、市役所に事前に連絡をしてください。

◆市などが出す避難情報に注意し、呼びかけがあった場合は速やかに避難しましょう。

◆避難する前には、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。

◆避難をするときは、動きやすい格好をし、携行品は必要最小限にしましょう。

◆万が一、逃げ遅れたとき、特に洪水のときは無理をせず、頑丈な建物の2階以上の場所に避難しましょう。

防災パネル展

●期日 8月30日㈬～9月5日㈫
●時間 午前9時～午後10時
●会場 まどかぴあ 1階ギャラリーモール
●問い合わせ先 安全安心課消防・防災担当 ☎（580）1899

「防災メール・まもるくん」に登録を！

福岡県の「防災メール・まもるくん」は、防災情報や地域の安全情報を伝えてくれます。登録は無料です。

●問い合わせ先 福岡県防災企画課 ☎（643）3112